

ホタテガイは血があるのか？

ほたて貝部長 小坂善信

ホタテガイも動物であるので血液はあるが、人間のように赤血球を持たないため、その色は無色透明である。しかし、この無色透明なのが災いとなって、ホタテガイは病気になっても怪我していても誰も気が付いてくれない。貝殻を剥がすと、水のようなものが出てくるが、これを海水であると思われることが多い。しかし、この無色透明な液体のほとんどが血液である。貝殻を取ることで、ホタテガイは大量に出血している。この貝殻を開けたときに、貝柱と中腸腺（ウロ）の間に三角の白色または透明な三角の部分が見ることができるが、これは実を言うと心臓である（図1）。ホタテガイの心臓は13～33鼓動／分くらい鼓動するが、貝殻を取ったときに虫の息（貝の息？）の心臓が鼓動しているのを見ることができる。ホタテガイの血液は無色透明なので血管自体は直接見ることができないが、心臓から送りだされた血液は太い血管を通して中腸腺、生殖巣、貝柱などの器官にそれぞれ送られる（図2）。この血液の中にはアメーバのような血球があり、酸素の運搬、栄養成分の運搬、老廃物の排泄、異物の捕食など多くの機能を果たしている（図3）。しかし、貝同士のかみ合いや耳吊りで二枚開けにしたりしたことにより外套膜に傷ついたりすると、我々はなかなか気がつかないが、ホタテガイはそこから大量の出血をしている（図4）。このことによ

り、ホタテガイは体調がおかしくなり、死んでしまうことがある。ホタテガイを食べ物として扱う以前に、生き物として大切に世話をし、殻というゴミだけを残さないことを望む。

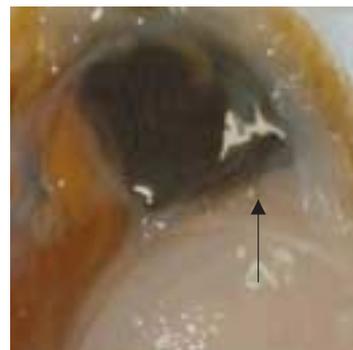


図1 ホタテガイの心臓

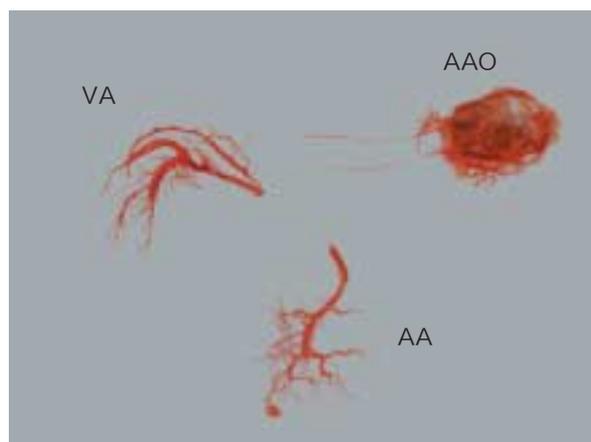


図2 ホタテガイの血管のレプリカ
AA：閉殻筋動脈，AAO：前大動脈（中腸腺動脈），
VA：内臓動脈（生殖巣動脈）

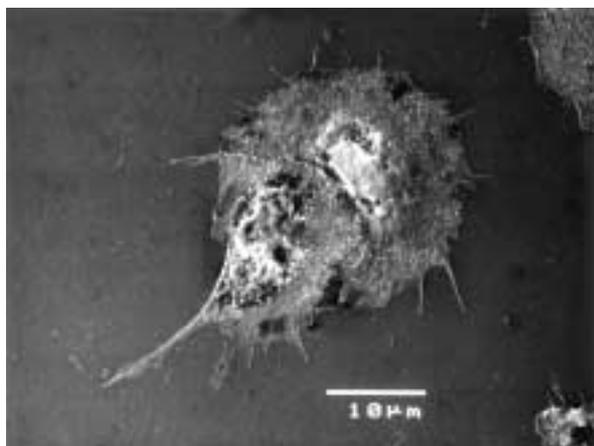


図3 ホタテガイの血球

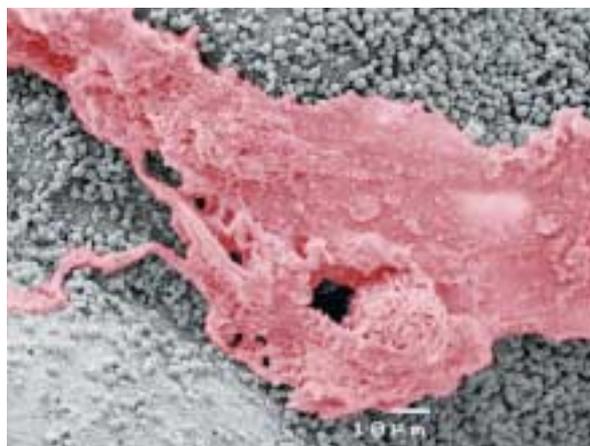


図4 出血している外套膜（赤色に着色）